

会議録

会議の名称	第1回 西東京市誕生10周年記念事業推進委員会
開催日時	平成22年5月28日（金曜日）13時30分から14時50分まで
開催場所	田無庁舎3階 庁議室
出席者	委員：齋藤座長 大河内副座長 石田委員 柏木委員 小西委員 住田委員 尾藤委員 大島委員 坂口委員 松井委員 事務局：副市長 池田企画部長 柴原企画政策課長 藤澤企画政策課主査 掛谷企画政策課主任 山田企画政策課主任 田中協働コミュニティ課係長
議題	1 委嘱状伝達について 2 会議の運営について 3 記念事業の概要と今後のスケジュールについて 4 その他
会議資料の名称	資料1 西東京市誕生10周年記念事業推進委員会設置要綱 資料2 記念事業準備経過 資料3 市民アンケート実施結果 資料4 記念事業実施方針 資料5 平成22年度事業分記念事業一覧 資料6 主な取組予定スケジュール 資料7 推進委員会会議スケジュール（案） 資料8 市民活動団体提案協働事業募集概要（案） 資料9 協賛事業募集概要（案） 参考資料
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>開会。委員長が選出されるまで企画政策課長の議事進行による。</p> <p>○副市長： 市長に代わりに挨拶。</p> <p><u>議題1 委嘱状伝達について</u> 委嘱状交付</p> <p><u>議題2 会議の運営について</u> ○事務局：</p>	

議題2について会議の運営方法、市民参加条例について説明

会議の運営について、条例に基づき会議及び会議録の公開、開催日の事前公表をすることによろしいでしょうか。また、会議録の作成方法については「発言者の発言内容ごとの要点記録」によろしいでしょうか。

○委員：
異議なし。

○事務局：
資料1に基づき内容説明
委員会の座長、副座長の選出に入ります。委員の皆さんの互選でお願いしたいと思いますが、立候補または推薦する方はいらっしゃいますか。

○委員：
立候補、推薦なし

○事務局：
無ければ、事務局案として、座長は齋藤委員、副座長は大河内委員にお願いしたいと思っておりますがいかがでしょうか。

○委員：
異議なし。

○齋藤座長：
これより、私が議事進行を進めさせていただきます。

議題3 記念事業の概要と今後のスケジュールについて

○齋藤座長：
議題3について、事務局から説明をお願いします。

○事務局：
資料2から9に基づき、内容説明

○齋藤座長：
議題3について、何か質問やご意見はございますか。

○住田委員
資料8について、対象団体として西東京市内に活動拠点をおく団体等の明記が必要ではないでしょうか。

○事務局：
明記します。

- 大河内副座長：
資料4より、必ず継続的な効果をもたらす事業でなければならないのでしょうか。
- 事務局：
1回で終わりという事業ではなく、種まきの事業を考えています。
- 大河内副座長：
資料5のNo. 14「商店街イベント事業」は、継続的なイベントなのでしょうか。
- 事務局：
22年度は、ポスター等で記念事業を周知し、23年度に各商店街でイベント等の開催に際し、一部経費補助をする予定です。
- 大島委員：
資料5のNo. 7の市勢要覧発行も記念事業なのですか。
- 事務局：
合併10周年記念事業として、旧田無・旧保谷時代からの歴史や文化、健康都市宣言など未来の西東京市へ繋がる要覧を作成します。
- 大河内副座長：
資料5の各事業について、個別に協議していくのでしょうか。
- 事務局：
本委員会は、個別の事業内容等について協議していただくのではなく、記念事業全体の進行管理や方向性、キャッチフレーズの選定、推進状況等についてご意見をいただくものです。
- 小西委員：
資料5のNo. 7の市勢要覧は10周年記念事業がなければ発行しないものなのですか。定例的に発行するのであれば、10周年記念事業としての計上は不要ではないのでしょうか。
- 事務局：
前は、合併3周年時に作成しました。毎年作成するものではなく、今回の10周年記念等の節目に作成します。
- 坂口委員：
実に数多くの記念事業プログラムを組まれています。基本的にこのプログラムを前提に（新たなプログラムを提案するのではなく）、私たちの責務をはたせばいいんですね。
資料9について、協賛事業実施時に市で場所の予約、提供ができるのでしょうか。
- 事務局：

基本はシンボルマークやキャッチフレーズ、のぼり旗等の使用、貸出しを予定。場所の確保については、個別に対応を検討します。

○齋藤座長：

23年度に実施する事業は、これから検討するのでしょうか。

○事務局：

23年度予算編成に合わせ、10月以降に検討します。今後、全体の採択方針などについて、委員の意見をいただく予定です。

○大島委員：

資料5をみると、教育関係部署の事業が少ないのですが、児童や学生を対象とする事業があると全体のバランスがよくなると思います。

○事務局：

22年4月に組織変更があり、教育部の文化・スポーツ関係部署が市長部局に編成され、若干事業が移管されています。また、教育部所管事業については、時期的に秋ごろが多く、23年度事業も想定しています。資料は、平成22年度事業分のみであり、23年度事業分については今後とりまとめていく予定です。

○尾藤委員：

中高生のボランティアを記念式典準備等に積極的に参加させてみてはどうでしょうか。

資料8の協賛事業については、新規事業でないと対象とならないのでしょうか。わんぱく相撲等、経常的にやっているものでも対象となるのでしょうか。

○協働コミュニティ課：

10周年記念事業のコンセプトと合えば、対象となります。

○石田委員

早めに各事業の概要を示していただかないと、協議しても意味がなくなってしまうので、その点に留意をお願いします。

○事務局：

わかりました。

議題4 その他

○齋藤座長：

その他として、事務局から何かありますか。

○事務局：

次回開催日程の確認、謝金について説明

閉会